



2023年11月9日

各位

会社名 株式会社アスモ  
代表者名 代表取締役社長 長井 尊  
(コード:2654、東証スタンダード)  
問合せ先 社長室室長 相馬 太  
(TEL.03-6911-0550)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年5月12日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

(1) 2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2023年4月1日~2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,500	百万円 210	百万円 230	百万円 147	円 銭 10.92
今回修正予想(B)	10,235	300	339	199	14.81
増減額(B-A)	735	90	109	52	—
増減率(%)	7.7	42.9	47.4	35.4	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	9,867	147	195	89	6.62

(2) 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 19,100	百万円 385	百万円 427	百万円 264	円 銭 19.61
今回修正予想(B)	20,100	430	470	300	22.28
増減額(B-A)	1,000	45	43	36	—
増減率(%)	5.2	11.7	10.1	13.6	—
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	19,723	333	386	204	15.18

## 2. 修正の理由

2023年5月に公表いたしました第2四半期（累計）連結業績予想および通期連結業績予想においては、コロナ禍収束後の社会経済活動の正常化に伴う需要の回復を限定的に見積もっておりましたが、下記3つのセグメントにおいて第2四半期を通して売上、利益共に当初の想定より好調に推移いたしました。

アスモトレーディング事業においては、社会経済活動の正常化に伴う外食を主とした食肉需要やインバウンド需要の増加、世界的なインフレの継続に起因する米産牛肉の高騰により当社主力商品であるメキシコ産牛肉へ流れた需要を着実に捉え、売上高が前年同四半期累計を上回るペースで推移いたしました。

アスモフードサービス事業においては、新型コロナウイルス5類移行による社会経済活動の正常化に伴い主要顧客である高齢者施設の入居率が増加し、積極的な新規開拓営業により受託施設数が増えたことで給食提供食数が増加し、売上高が好調に推移しました。また、物価高騰に伴う売上単価値上げや仕入先の見直しによる原価コントロールが功を奏し、利益の確保に繋がりました。

アスモ介護サービス事業においては、高齢者施設の入居率の回復に伴い介護サービス利用者および自社運営施設の入居者数が増加傾向にあり、売上高が好調に推移いたしました。また、コロナ禍収束に伴う衛生対策費用の減少、人件費の見直し等により利益が増加いたしました。

ASMO CATERING (HK)事業においては引き続き厳しい事業環境の中でセグメント利益において赤字となっておりますが、上記3つのセグメントがグループ全体の業績を牽引し、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が公表した第2四半期（累計）連結業績予想および通期連結業績予想を上回る見込みとなりました。

つきましては、当社を取り巻く社会経済情勢が当面の間継続すると仮定した上で業績予想を改めて算定し、通期連結業績予想数値を修正するものであります。

（注）上記予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以上